

【校長室便り】

No.12

H30年6月8日(金) 土佐町小中学校 谷内宣夫

き か いしき じゅぎょう 聴く・書くことを意識して授業に取り組もう!

土佐町小中学校の児童生徒に、授業をうけるときに最も



大切にしてもらいたいこと。それは「聴く」ことです。

ノートに様々な情報を書き込むためには「聴く」ことができな

ければ書き込めません。「聴きながら書き込むこと」によって

「聴く力」「書く力」も鍛えられます。「集中力」もアップ

しますし、「姿勢」も良くなります。そういう学習の仕方をして

いると自然と「成績も向上」してきます。「褒められる」こと

も多くなるでしょう。話を聞いているとき必死でノートに「書

きなぐっている」ので眠くなることもないし、本当に集中して

話を聞けます。良いことばかりです。保護者も喜びます(親孝行でき

ます)。そういう学習の仕方が身につくまでは、少ししんどいかもしれ

ふひつよう ぶんぼうぐ 不必要な文房具はいりません!



児童生徒の皆さんの授業中の様子を見て大変気になることがあ

ります。日々の学習をスムーズにかつ、効率よく行うために気を

つけてもらいたいことを書きます。それは、



① 鉛筆・シャープペンの持ち方が悪いことです。

鉛筆を使っている中学生はほとんど見当たりません。シャープペンより鉛筆の方が学習に適しています。是非、小学生のように鉛筆を使って正しい持ち方で授業・家庭学習に取り組んで下さい。

② 筆箱に不必要なペンがいっぱい入っています。

学校の学習では、鉛筆5本、赤・青のボールペン、1色のアンダー

ラインペン、消しゴム、ものさしがあれば良いのです。不必要

な文房具は学習の妨げになります。たくさんの筆記用具は家庭学

習で使ってください。

鉛筆を使おう!

② 高校受検に必要なもの

鉛筆(シャープペン)、消しゴム、定規、コンパス



※試験会場に持ち込めないもの

カッター、分度器、はさみ、携帯電話(スマホ) 計算・翻訳機能を持った機器

なぜ鉛筆の持ち方が大切なのか!

① 持ち方が不安定であると、強く握る → 疲れやすい

まんせい ちょうじかん しゅうちゅう わずか
(慢性な肩こり・長時間の集中が難しい)

② 指先が自由に動かない(不器用) → 速く書くことができない。

↓ ◆ 板書をノートに写すスピードが極端に遅い。

メモをとる速度が遅い。教師の説明が聞けない。



↓ ◆ 美しい字が書きにくい。(字が下手、何を書いているのかわからない、後で困る)



↓ ③ 持ち方が悪いので、指で鉛筆の先を隠してしまう。

↓ 先が見えないため上体を左に傾けて書く癖がつき姿勢が悪くなる。体調不良・睡魔に襲われる。



↓ ◆ 左右の視力に偏りが生じる。集中できない。

等、学習面でも身体面にも悪影響が出てきます。

(同様にお箸の持ち方についても正しい持ち方をしている子どもが少ないです。ご家庭でお子さんの持ち方をチェックしてみてください)

◇ 正確な持ち方をすると、指の巧緻性が増します。(器用になります。)

授業では素早くメモる事やノートに書き写すことが必要です。児童生徒の皆さんは自分の鉛筆の持ち方を意識して直しましょう。保護者の皆さんはお子さんの鉛筆や箸の持ち方を観察してみてください。もし、おかしい持ち方をしているのなら早いうちに修正してあげてほしいです。

シャープペンより鉛筆の方が良い理由

① 鉛筆を使う方が圧倒的に素早く書くことができます。100マス計算をしてみればすぐにわかります。同様にノートをとるスピードも違ってきます。鉛筆の方がはるかに素早くノートに書き込めます。

② 鉛筆は筆圧を変えながら書くことができるので脳の活性化につながります。



③ シャープペンをつついて(分解したり・芯を入れたり出したりしている)、授業に集中できていない(先生の説明を聞けていない)児童生徒がいるのが現状です。

④ 鉛筆は使えば芯がちびるので、家庭できちんと削る必要があります。◎ 家庭で学習用具の管理・準備をするようになります。

(自分自身で学習する環境を整えることが意識できます)

★ 正しく鉛筆を持つためには、まずは指先を鍛えることが大事です。

正しい鉛筆の持ち方を身につけ、学習効果を高めよう!

★ 不必要な文房具は自宅において、学校には持ってこない。